

## 令和元年度 保幼小連携地区ブロック活動報告書

1 地区ブロック名 東 地区ブロック  
 今年度のテーマ ポイントとなる姿（ 言葉による伝え合い ）

2 地区ブロックの組織（ブロック内学校・園・所名）  
 ・大利根小学校 ・新田小学校 ・認定こども園大利根育英幼稚園  
 ・トキワ保育園 ・東保育所 ・東小学校

3 連携推進活動（実施した交流活動等）

日 時	場 所	内 容
5月16日（木）	総合福祉会館	・第1回地区ブロック会議 計画立案・情報交換
6月8日（土）	トキワ保育園	・保育参観
6月11日（火）	東保育所	・保育参観
6月21日（金）	大利根小学校	・学校公開
	新田小学校	・学校公開
7月3日（水）	大利根育英幼稚園	・保育参観
7月6日（土）	トキワ保育園	・運動会
9月21日（土）	大利根小学校	・運動会
	新田小学校	・運動会
	東小学校	・運動会
9月28日（土）	東保育所	・運動会
<b>○10月10日（木）</b>	<b>東小学校</b>	<b>・地区ブロック研修会</b> <b>（授業公開・情報交換）</b>
10月19日（土）	大利根育英幼稚園	・運動会
10月～11月	各小学校	・就学時健康診断
11月22日（金）	東小学校	・学校公開
11月28日（木）	新田小学校	・学校公開
11月29日（金）	大利根小学校	・学校公開
2月～3月	各小学校 各園所または電話	・年長児学校訪問 ・新入児童の情報交換

4 令和2年度の代表校園所【 トキワ保育園 】

## 5 これからの保育・教育に生かしたいこと

- ・ 小学校の授業を見させていただき、子どもたちが半年で大きく成長したのが感じられました。また、参観を通して、子どもたちの意見を発表する時の姿勢、聞くときの姿勢の大切さを改めて感じました。小学生の意見の伝え合いを見ることができたことにより、発達段階が見えてきました。まだ自分の意見に自信がもてていない様子の子も見られ、大人の発言、周りの友達の発言一つで自分の意見が変わっていく様子も見られました。そこから、自分の意見に自信をもって伝えるためには、周りに伝える経験、安心して自分の意見を伝えられる環境が大切だと感じました。また、自分の意見を言うだけでは、一方通行になってしまうので、様々な経験を通して、いろいろな価値観を知っていくことにより、相手の立場を考え、自分の意見が伝えられるようになると思いました。幼稚園では、遊びや様々な活動の中で、いろいろな価値観を知っていくことが大切だと思います。また、子どもが安心して自分の気持ちを伝えられる環境づくり、気持ちの伝え合いの楽しさを味わえるような保育内容を実践していきたいと思います。
- ・ 年長児を担当して、子どもたちの就学に向けてどのように指導していったらよいのか、改めて「10の姿」を手がかりに自身の保育を見直すことができました。幼児期に必要なことは何か、この時期だからこそ育ててほしいこと、それには保育者がどのように子どもたちと関わり、どのように指導していったらよいのか、悩み、試行錯誤の毎日ですが、その中で「10の姿」を目安に一人一人の姿を受け止め伸ばしていくこと、補っていくことを思いながら保育していけたらと思いました。自分の思いを伝えられる子に育てていくには、保育士がその子一人一人をしっかり捉え、関わっていくと共に、安心して自分の思いを伝えられる環境づくり、友達のことを認められ、人に意見と違うことも言えるおもしろさや良さを感じられることの大切さを改めて思い、これからの保育に生かしていきたいと思います。
- ・ 総評の中で「その時のねらいまで到達しなくてもいいのでは？」という問いかけがとても印象的でした。その子どもたちの発達や現状に合わせて授業を進めることがあってよいという提案は、保育所や幼稚園での生活の延長線上にあることがより感じられた一言でした。

保育園、幼稚園、小学校…どこにおいても子どもたちの健やかな育ちの場であって根幹は変わらないと思います。私たちは就学前の子どもたちの発達を色濃く捉えています。その育ちを今まで以上にしっかりと伝えることで、小学校との連携や育ちの連続性が生かされるのだとこの研修で再認識しました。
- ・ 落ち着いた雰囲気の中で、子どもたちが自分の思いをもって真剣に取り組む姿が印象的でした。ペープサートを用いた教材の提示によって、話の展開

が視覚的にとても捉えやすくなっていました。また、ワークシートへの書き方にも慣れており、日頃の積み重ねの大切さも感じました。1年生の実態を考えると、書き方の例などを示すことで、安心して書き始めることができるのだと思いました。

- ・ 授業後の協議では、保育園や幼稚園では「遊び」や「生活」を通して、子ども同士で伝え合う機会を積極的に作っていることや、小学校では一人一人違う成長を温かく見守って関わるようにしていることが分かりました。それぞれの発達段階や個々の成長に合わせて、認めたり、友達同士をつないだりしながら、幼稚園や保育園で培ってきた素地をもとにした教育をしていきたいと思います。
- ・ 保・幼の先生方が、成長した1年生の様子を具体的に指摘してくれたり、年長の子どもの様子をお話してくれたりして、改めて発達段階に沿った支援、学習が重要であることを確認することができました。また、幼稚園・保育園の先生方との意見交換の中で、園児・児童のもっている力を認め、大いに引き出そうとしている様子がかがわれ、子どもを見る視点を広げることができたように思いました。今後も連携を大切にしたいと思いました。

